

研究機関：広島大学

研究課題名	次世代シーケンサーを用いた食道扁平上皮癌浸潤、転移能獲得のメカニズムの解析
研究責任者名	広島大学病院呼吸器外科 教授 岡田 守人
研究期間	2012年 10月(倫理委員会承認後)～ 2022年 7月
対象者	本研究の説明を受け、文書による同意をいただいた患者さん及び、2006年1月1日から 2017年3月30日の間に、食道扁平上皮癌と診断され、広島大学病院で外科切除された患者さんのうち、「病理組織検査に伴う組織標本の教育及び研究利用の同意書」に同意された方。
意義・目的	食道癌は粘膜内に留まる病変では転移することはありませんが、粘膜下層以深に浸潤するとリンパ節や遠隔臓器に転移する能力を持つようになります。次世代シーケンサーによる比較解析により浸潤や転移能獲得のメカニズムを明らかにし、治療応用することを目的としています。
方法	本研究は、手術にて切除された病理標本からRNAを抽出し、その発現プロファイル(遺伝子の違い)を次世代シーケンサーを用いて調査します。調べる対象は、食道扁平上皮癌の発症や浸潤、転移に関与する可能性のある遺伝子群です。使用する情報は、性別、年齢、食道癌の病理所見、予後等です。これらの情報を個人が決して特定できないようにして電子ファイルに保存、管理し、解析を行います。
共同研究機関	ありません
試料・情報の管理責任者	研究事務局 (広島大学病院 呼吸器外科 津谷康大)
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 霞総合研究棟 5F Tel: 082-257-5869 広島大学病院消化器外科 職名 医科診療医 伊富貴雄太